

経営比較分析表

北海道 豊浦町

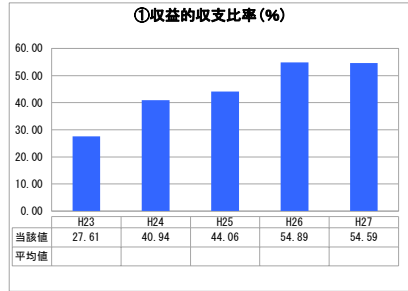
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F3 | |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 4.63 | 100.00 | 3,080 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 4,262 | 233.57 | 18.25 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 195 | 0.10 | 1,950.00 |

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



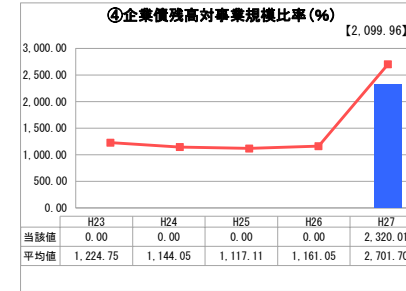
「単年度の収支」



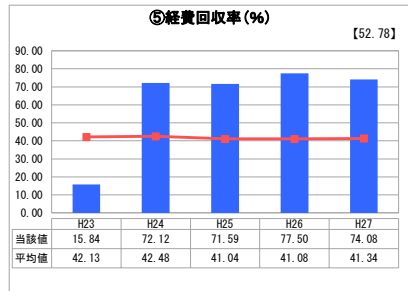
「累積欠損」



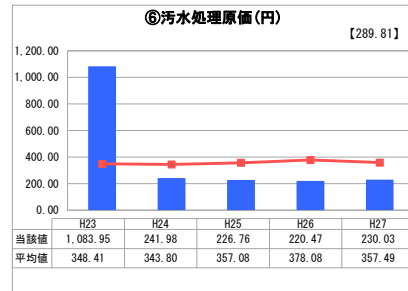
「支払能力」



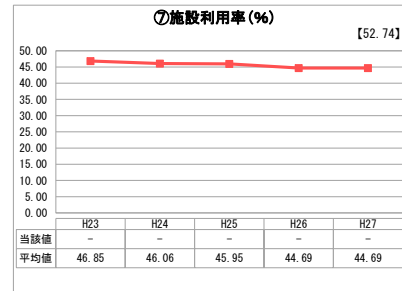
「債務残高」



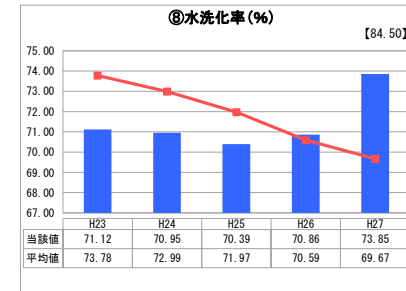
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

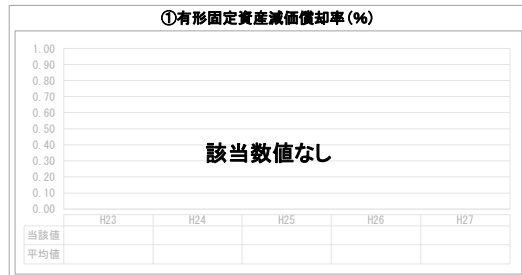


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

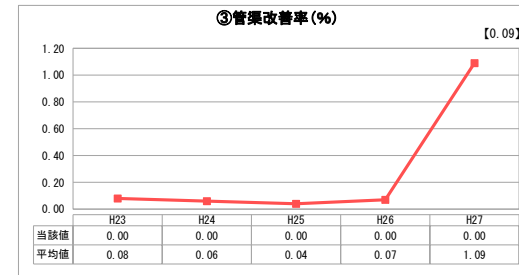
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

営業費用は料金収入でほぼ補えているが、それ以外は繰入金に依存していることから、平成29年度から料金改定を実施予定である。経費回収率と汚水処理原価は、ほぼ横ばい傾向で推移しているため、更なる経費削減と効率的な運営に努めていく。

2. 老朽化の状況について

今現在、大規模な修繕や改修といった不具合はないが、概ね20年を経過するため、老朽対策を念頭に置いて維持管理が必要となっていく。

全体総括

料金改定を実施し、より効率的・安定的な経営を図っていく。
農業集落排水事業区域の人口減少も考慮し、今後の施設・管路の更新事業を適正に行う必要がある。
今後も更なる水洗化向上、維持管理費等の経費削減に取り組み、効率の良い経営を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。